

【須影支部】

市民座談会懇談内容（概要）

令和4年10月17日（月）17:00～18:30

①下羽生地区の生活道路がきわめて狭い、管理されていない農地が多い

（質問）

- 1) 多くの道路が極めて狭い、行き止まり状態の道路が多い
（水道課に沿う南北道路や北袋地内部分の道路）
秀安交差点とふじ高等学園前の交差点を結ぶ道路新設
- 2) 管理されていない農地が非常に多い、また農地の1区画が狭く、
大型の農業が不可。次世代の農業の担い手も見当たらない。

【道路について】

（回答）

市では、地域の生活道路や農業用排水路の工事を実施しようとする場合、いわゆる2年に1回の地区要望をお願いしている。要望の中には、比較的到低予算で実施できる工事もあるかと思う。ご要望の中で、優先順位をつけて頂きながら、複数のご要望も、ご相談頂きたいと思う。予算の中で、できる限りのことは実施していきたいと考えている。

秀安交差点とふじ高等学園前交差点を結ぶ道路新設については、生活道路ではなく、主要幹線道路となります。莫大な事業費がかかるものとなりますので、簡単ではなく、市の主要幹線道路網の計画として位置付けていかなければならない。また、地元自治会や土地所有者、周辺にお住いの皆様方の同意も必要になってくる。

水道課から北へ向かう道路は、市としても拡幅すべき道路と捉えているが、やはり地権者の方の同意が必要。地元での調整をお願いしたい。

水道課施設の更新などについても、地区の重要インフラとして今後考えていきたい。

（質問）地権者の同意はなかなかハードルが高い。道路計画などを作り、国や県の予算なども当てられないか。

（回答）道路の拡幅は、やはり地権者の理解が一番重要となってくる。現地の状況については、改めて伺ってみたい。

【農地について】

耕作放棄地は、今年度、市内全体で 60.5 ヘクタールあった。

須影地区内の耕作放棄地は、4.8 ヘクタールとなっている。

耕作放棄地になってしまうのは、農地の条件が悪いからであるが、かつては、市内で一番に耕地整理を実施した地区で、用水と排水が分離された当時としては画期的なものであった。それから農業も大きく変わってきて 2 m 弱の農道や 1 反タンクの区画では、農作業がしづらいという話は、多く伺っている。

農地や農道が狭いという課題への対応として、現在、埼玉型ほ場整備に力を入れている。費用は、国・県・市負担。農道を広げていく場合には、地権者から寄付を頂いて整備するという方法。市内でも発戸や尾崎、稲子地区などで整備を実施してきた。希望等ありましたら、ご相談して頂きたい。

また、数年前には「下羽生の農業を考える会」でお話する機会があった。その機会があって、新たな担い手に農業を行って頂いていることもあり、今後一緒に考えていきたい。

②下川崎公園の維持管理が困難

(質問)

自治会で下川崎公園の除草と清掃等の作業を行っている。

面積が 11,720 m²、早朝 2 時間程を要する。住民には無償ボランティアでの作業をお願いしているが、15 年目になり参加者が少なくなり、維持していくのが、難しくなっている。

また、面積を考えると、機械の力を借りざるを得ないが、機械のオーバーホールや更新の助成を考えて頂きたい。

(回答)

市では、毎年、各自治会様に委託する形で除草や清掃の公園管理をお願いしている。

業務内容は、公園内の除草、清掃など。

下川崎公園は面積が 11,720 m²と広く、芝刈り機などの機械を利用しないと管理できないことも理解している。助成については、市の裁量としては現状維持が精一杯で、さらなる増額は厳しいのが実状となっている。

なお、現実問題として、須影地区以外の自治会でも高齢化により公園管理がままならないとの相談は受けている。

常にきれいな管理が難しくても、できる範囲で利用に支障がでない程度に、例えば、樹木を間伐して本数を減らし自治会の負担を減らすなど、市と自治会で知恵を出し合いたいと考えている。

(質問) 地元の公園は地元で管理したいという意向はある。市でも歩みよってもらい、話し合いの場をもってもらいたい。

(回答) 話し合いの場は、市からも持たせて頂きたい。

(質問) 公園管理を専門業者に委託等できないものか。

(回答) 委託料が莫大な費用になってしまう、財政状況が厳しい中で現実的に出来る範囲でお願いしたい。